

箏は江戸時代から現在に至るまでのあいだに、めざましく発展を遂げた楽器である。
京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センターは、2015年に横浜インターナショナルスクールが開催した
箏と洋楽器の国際作曲コンクールの受賞者・入選者の作品の一部を披露する演奏会を開催する。
また公演ではコンクールの受賞者・入選者の作品に加えて、
20世紀、21世紀に作曲された箏のための作品も取り上げる。
この演奏会が、箏の新しい展望を供する機会となることを願っている。

The koto has shown a remarkable development from the Edo period to the present time.
In 2015, the Yokohama International School held an international composition competition for koto and western instruments.
The Research Centre for Japanese Traditional Music, Kyoto City University of Arts, introduces some of the competition's prize-winning works and composers – in Kyoto.
The programme will include other works for koto from the 20th and 21st centuries.
This concert creates a time and a space where Japanese music can confront dilemmas of modernity, and experience an encounter to stimulate its further journey.

箏が洋楽器と紡ぐ音楽

《第1部》 21世紀邦楽プロジェクト入賞者の作品

岡本伸介 Okamoto Shinsuke 《 Weaving spells into a starlit sky 》 (2015,世界初演) [箏2, ヴィオラ]

南川弥生 Minamikawa Mio 《 天道 Tiandao 》 (2015,世界初演) [箏十七絃, フルート]

服部伶香 Hattori Reika 《 Traitor 》 (2015,京都初演) [十七絃・ヴァイオリン]

稲谷祐亮 Inatani Yusuke 《 溢れる赤 flos invisible 》 (2017,世界初演) [箏, 唄]

《第2部》 国内外の邦楽器と洋楽器の作品

池辺晋一郎 Ikebe Shinichiro 《 凍る KOHRU 》 (1977) [箏]

野村誠 Nomura Makoto 《 つみき Tsumiki 》 (2003) [十七絃2]

藤家溪子 Fujie Keiko 《 きよきなぎさに On the Clear Shore 》 (2016) [箏, 唄]

クリストファー・スヴェンソン Kristofer Svensson 《 Av dagg och fattigdom 露と貧困と 》 (2017,世界初演) [十七絃, ヴィオラ]

沢井忠夫 《 鳴き砂よ Singing Sand 》 (1981) [箏, ヴァイオリン]

FUSION OF HORIZONS: NEW MUSIC FOR KOTO

箏・十七絃・唄: 麻植美弥子 大谷祥子 カーティス・パターソン
中川佳代子 マクイーン時田深山

koto, 17gen, Uta: Oe Miyako Otani Shoko Curtis Patterson
Nakagawa Kayoko Miyama McQueen-Tokita

ヴァイオリン: 江川菜緒 ヴィオラ: 柳楽毬乃 フルート: 朴優栄 [京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程]
violin: Egawa Nao viola: Yagira Marino flute: Park Wooyoung

speakers: カーティス・パターソン [沢井箏曲院師範、横浜インターナショナルスクール邦楽プログラムディレクター]

中村典子 [京都市立芸術大学音楽学部准教授]

時田アリソン [京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター所長]

企画・構成: 時田アリソン [京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター所長]

中村典子 [京都市立芸術大学音楽学部准教授]

助成: 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション

後援: 横浜インターナショナルスクール・日本芸術文化国際センター ジャポニスム振興会

Organized by Alison Tokita, Director, Research Centre for Japanese Traditional Music, Kyoto City University of Arts
Nakamura Noriko, associate professor, Composition, Graduate School & Faculty of Music, Kyoto City University of Arts

Sponsorship by Rohm Music Foundation

Supported by Yokohama International School, International Center for Japanese Culture JAPON isme

JAPONisme

2017年 9月17日 [日]
14時30分開演 [14時開場]
京都文化博物館別館ホール

Museum of Kyoto, Annex Hall

604-8183, Takakura, Sanjo, Nakagyo-ku, Kyoto

入場料: 一般 2000円 学生 1000円

チケット予約・お問い合わせ: kotohorizons2017@gmail.com

Tickets: 2000yen Students: 1000yen

Bookings & enquiries: kotohorizons2017@gmail.com

http://w3.kcuu.ac.jp/jtm/events/directors_salon/kotoconcert.html



服部 伶香
Hattori Reika

1988年生まれ。東京音楽大学を経て、同大学院作曲研究科修了。これまでに作曲を原田敏子、川島素晴、梶浦高美子、池田晋一郎の各氏に師事。第1回京楽21世紀邦楽プロジェクト第1位。ウイオラと17絃琴のための二重奏曲「Tractor」がマザーアース財団賞に選ばれている。今秋より、同プロジェクトのニューベーク音楽大学のマスター課程に進学予定。



岡本 伸介
Okamoto Shinsuke

岡山県出身。中村典子、前田守一、葛西聖恵、伊藤弘之、藤井樹子、青木三三の各氏に師事。京都市立芸術大学音楽学部作曲専攻。京都市立芸術大学大学院修士課程音楽専攻卒業。大学院卒業後、同大学院院長賞受賞(2010)。『現代音楽における可能性の可能性』が『クラシック』の「クラリネット協奏曲」における戦後技法の分析でポストスベクトル派楽の音楽を研究し、現在、京都市立芸術大学大学院博士課程に在籍。



日本芸術文化国際センター(ICJC)は、日本の伝統楽器の繊細で豊かな音色に魅せられて、今日まで様々な作品の演奏活動を世界中で行ってきた。
日本の伝統楽器・管の合奏曲は多岐あるが、管と西洋楽器とが一緒に演奏されることで、世界中の西洋楽器奏者と奏楽者がコラボレーションすることも可能になり、この編成の作品が多岐化する一方で、日本の伝統文化の普及だけでなく、国際交流の促進も図れる。世界中に広がる管と西洋楽器の協奏曲を、広く国内外に普及させる。
審査員：坪坂克博(作曲家・審査委員長) ジョセフ・アマ(作曲家・日本音楽研究者) 高岡久美子(作曲家) 中村典子(作曲家) クリスファー・スヴェンソン(ハル音楽家)



南川 弥生
Minamikawa Mio

大阪音楽大学作曲科卒業。専攻科修了。作曲を乾友氏に師事。第5回マルセルジュス国際作曲コンクール第2位入賞。「Diphysy」がCDに収録されヨーロッパ発売。『京都舞踊』に交響曲「舞踊」等を出品。14年サクラメント室内オーケストラのための「天璣」は16年室内オーケストラのための「波の呼吸」発表。大阪音楽大学講師。日本現代音楽協会、日本作曲家協会、日本女性作曲家連盟、兵庫県音楽推進会議、こうべ芸術文化会連、ひょうご日本音楽の会等各員。NPO法人国際音楽協会理事。楽譜「天璣」「水鏡」等「J.sax」等、打楽器等がマザーアース財団出版。



稲谷 祐亮
Inatani Yusuke

1992年奈良県に生まれる。17歳より作曲を始め、作曲を土井智恵子、中村典子、岡田加津子、葛西聖恵、中村典子、前田守一の各氏に師事。アラン・ゴースト、カルロ・フォルリジェ、ラインハルト・フェルベの各氏のマスタークラス受講。2015年京都市立芸術大学音楽学音楽科作曲専攻卒業。モーツァルト大学で作曲とピアノ/声上。明治学院大学で「オペラ」院学生。京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程首席修了。京都市長賞受賞。作曲家集団「響き」



麻植 美弥子
Oe Miyako

京都市出身。渡辺賢喜津市在住。3歳より祖母大伴勝子の手ほどきを受け始める。NHK邦楽オーディション合格。長谷川健二記念第3回全国邦楽コンクール部門別1位最優秀賞。平成10年平山宗太郎音楽奨励賞(音楽部門)。京都芸術祭音楽部門最優秀賞。芸術祭賞受賞が多数。びわ湖ホールをはじめ各地でサイクル協奏。NHK交響楽団フルート奏者原副団長とCD「Flute-Piccolo」等十七絃琴 Collaboration「リクス」演奏活動を「クラフツマン」等。2010年「和民」公演。中島内大監督監修DVD「舞踏」大塚御息所所長「唐節」に音楽で参加。NHKをはじめ、テレビラジオ出演多数。ムジカA国際音楽協会会員。



大谷 祥子
Otani Shoko

岡山県岡山市出身。宮城会大師範の祖母岩井敏子から手ほどきを受け、その後他師範子、小嶋幹子、砂崎知子に等。三絃、吉村七重に20絃を師事。宮城会全国コンクール児童の部第1位。東京芸術大学音楽学部邦楽科卒業。賢頼記念全国コンクール第1位。平成13年度文化庁「クラフツマン」奨励賞。NHK邦楽オーディション合格。岡田和弘協会会員。京都市財団法人「ネットワーカー」副会長。京都府文化振興課「アサンプル」副団長。祥韻会正員。森の会会員。本願寺真方。本願寺文化興隆財団相談。吉崎御坊蓮上人。記念館館長。蓮如の道歩を会長。ジャポニスム振興会副会長。埼玉玉蕨市観光大使。



中川 佳代子
Nakagawa Kayoko

高崎芸術短期大学卒業。NHK邦楽技能者養成所卒業。1989年CD「祝非忠合奏団の世界」が文化庁芸術作品賞受賞。1991年南山音楽賞受賞。1998年文化庁芸術奨励賞。2002年賢頼記念全国邦楽コンクール最優秀賞。2013年京都市芸術文化協会新人賞受賞。海外においてはアジア文化(文化庁公認)モスクワ、サンクトペテルブルクにソロ演奏。韓国晋州国際交響楽団定期演奏会に20カリストとして招かれるなど公演多数。現在、現代音楽の初演、洋楽器、コーラスの共演、オケラ、即興演奏など多岐な場面で演奏活動を展開している。祝非忠大、祝非一恵氏、岩瀬千子に師事。



カーティス・パターソン
Curtis Patterson

アメリカン出身。外国人として初めてNHK邦楽技能者養成所卒業。祝非忠大、祝非一恵に師事。祝非一恵音楽院師範。祝非忠大合奏団、「華門」メンバー。松尾慶子企画制作「天守物語」。小椋佳や和太鼓ユニット「AUN」全国ツアー等で幅広く出演。ソプラノアルバム「音の輪」、ブルース・ユーバネーターと第1回「ハイブリッド」活動や全国ツアー、デュオCDをリリース。横浜インターナショナルスクール邦楽部「クラフツマン」副団長。演奏活動と邦楽指導を通しての可能性を追求する。



マクイーン時田 深山
Miyama McQueen-Tokita

オーストラリア生まれ。7歳からピアノを学び、東京でピアノに師事。2008年に日本に拠点を移し、新作加津や即興、自作曲や作曲、古典の演奏など、日本国内外で積極的に演奏活動を展開している。2015、2017年に演奏し、十七絃琴のための多数の作品を初演として、その魅力を伝えようとする。東京芸術大学大学院音楽研究科修士課程首席修了。現代音楽コンクール「破楽」第2位入賞。



江川 菜緒
Egawa Nao

音楽学生フェスティバル2015。小澤健爾音楽祭オペラプロジェクト。MIX。セゾ・オサマ松本フェスティバル「15歳未満のためのオペラ」。17歳以下の音楽家として参加。これまでに、斎藤彰美、東横健、神崎博、曾我部千恵子、豊嶋泰嗣の各氏に、ウイオラを山田由美子氏に師事。また、室内楽で中島祝子、上村昇、中村典子、玉井茉莉の各氏に師事。15年度公益財団法人財団法人。エイム音楽四重奏団メンバーとして第3回「回廊」ホール弦楽四重奏コンクール第1位。ペイン。現在、京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程器楽専攻2年生。



柳楽 穂乃
Yagira Marino

6歳よりヴァイオリンを始め。第16回 KOBE 国際音楽コンクール最優秀賞受賞。同ガラコンサート賞。2010年度文化庁「クラフツマン」奨励賞。2010年度文化庁「クラフツマン」奨励賞。2011年にOGとして全国ツアーに参加。井川晶子、芦原克、玉井洋子、玉井茉莉、豊嶋泰嗣の各氏に師事。現在、京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程1年生。



朴 優榮
Park Wooyoung

京都市出身。立命館大学経済学部卒業。現在、京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程1年在籍。立命館大学音楽院にて既習曲も、中村典子、岡田和弘の指導の下、オーケストラでの演奏活動を行う。これまでに「ファニー」を山田晋一郎、金豊水、船橋豊、清水信夫の各氏に、現在、大崎美史、富久田治彦の各氏に師事。



池辺 晋一郎
Ikebe Shinichiro

東京都立新宿高等学校卒業。東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。同大学院修了。池内友次郎、矢代秋雄、三善晃、島岡誠一に師事。世田谷文化財団音楽専攻部音楽監督。「N響アワー」(NHK教育テレビ)司会者を歴任。日本中国文化交流協会理事長。日本作曲家協会元会長。日本音楽家協会副会長。東京音楽大学教授。横浜みなとみらいホール副館長。日本音楽コンクール第1位。文化庁芸術奨励賞。毎日映画コンクール音楽賞。日本アカデミー賞最優秀音楽賞。国際エッセイ賞最優秀賞。読者賞。放送文化賞。響楽院賞。横浜文化賞。第3回姫路市芸術文化賞大賞。



クリストファー・スヴェンソン
Kristofer Svensson

スウェーデンの作曲家。香港でコン・ハクチに二胡を、福岡で藤枝守に作曲を師事。17歳以降の音楽家は、らっど期間に渡る。シカゴのメトロポリス・オブ・ザ・アーツの対象が、ノイズと比喩によって性格づけられた地獄の断片的な音楽の技法にみいだせる。彼は、独特な抽象のみの探求のこの素材の比喩的な解釈を抑制する。



野村 誠
Nomura Makoto

作曲家。慶応一モエカ賞。ピアノ、NPO 法人芸術家子ども理事。ユラホーター・フェスティバルディレクター。京都大学理学部数学科卒業。ピエラ・ユラホーター・フェスティバル「pon-fou」プロジェクト。エンタテインメントのオーディションでグランプリ。CDデビュー。10ヶ大学を拠点にライブ活動。現代音楽活動。ICC、ARTWORKSの現代音楽部門最優秀賞を受賞。国立武蔵野学院で音楽を指導。さくら苑に「お年寄り」の共同作曲をはじめる。朝日新聞の「天才」の共同作曲。京都女子大学児童学科講師。立教大学非常勤講師。東京芸術大学音楽環境創造科非常勤講師。第1回アサヒビル芸術賞。横浜リコーセンター。NHK教育テレビ「あいのこ」音楽・音響監督。釜ヶ崎芸術大学講師。



藤家 溪子
Fujie Keiko

京都出身。東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。同大学院修了。86年、日本音楽コンクール部門別第1位。95年、「思ひだす」ひびきのしぐさで高尾賞受賞。96年、オペラ「花の娘」が評価され、中島健吾音楽賞。98年、ダンスとのコラボレーション「In The Shows」をNYで初演。オーケストラ・シンガポールの第3回コンポーザー・イン・レジデンス。2000年、キョーコ協奏曲第2番「恋すてふ」が一度目の高尾賞。06年、「オルガン協奏曲」が「クラフツマン」の協賛で、東京交響楽団定期演奏会にて初演。04年から14年まで、家族で結成した「山下和子プロジェクト」のために作曲を続け、欧米・アジア各地の音楽祭などで公演。



沢井 忠夫
Sawai Tadao

愛知県出身。作曲家。祝非一恵音楽院院長。高崎芸術短期大学教授をつとめた。東京芸術大学邦楽科卒業。東京芸術大学専攻科修了。芸術祭賞最優秀賞を3回受賞。松尾慶子、中島健吾音楽賞受賞。世界キッズ音楽祭に演奏した日本各地、世界各地を巡る。主な作品に邦楽祭のための鳥のつばに、がある。祝非一恵音楽院。祝非忠大合奏団を設立。生涯で現れたCDは100枚以上。作品数も90を超え、またコンクールなどでもよく取り上げられている。祝非一恵音楽院は日本各地のみならず、世界各地においても支部を持ち、音楽院員が多彩に活動を展開している。

会場へのアクセス: Directions:

